

## 横浜・鎌倉・箱根に次ぐ

### 第4の国際観光地に向けて

# 大磯の提案が認定!!



神奈川県では、横浜・鎌倉・箱根に次ぐ国際観光地を創出するため、「新たな観光の核づくり認定事業」として、企業や市町村を対象に国際観光地を目指す構想・プロジェクトを募集しています。

大磯町(社)大磯町観光協会・大磯町商工会では、今回、この募集に応募し、県から認定されました。

今回の募集では、6件が応募し、うち4件が書面の一次審査を通過し、2次審査の公開プレゼンテーションに進みました。最終的に、大磯の提案構想「**三つの舞台を中心にしたニューツーリズムによる日本一の保養地再生**」と大山観光振興会等の「大山魅力再発見『平成大山講』プロジェクト」(体感!悠久の歴史・安らぎの霊峰大山)の2件が認定されました。



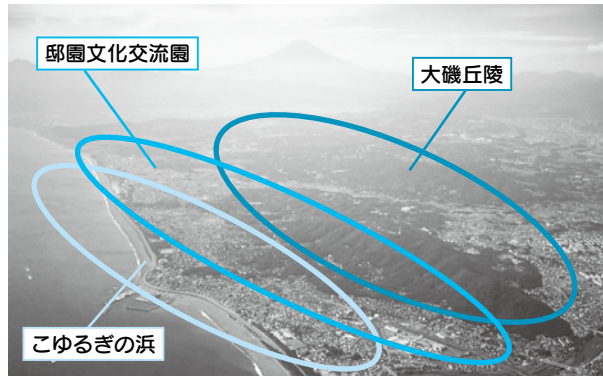
認定された町の提案内容の概略は次のとおりです。

### ●三つの舞台とは…

- ①「グリーンパーク」  
大磯丘陵を舞台にニューツーリズム(※1)と6次産業化(※2)による観光保養地づくり
- ②「邸園文化+地域活動オープンガーデン」  
街道沿いの邸園文化交流園を舞台に地域密着型観光保養施設を創出
- ③「ブルーパーク」  
こゆるぎの浜を舞台にニューツーリズムと6次産業化による観光保養地づくり、英国ブライトン市との連携

ゆっくりと時を刻んで磨かれてきた地域資源と今後新たに加わる地域資源、これらの資源を十二分に活かして、大磯の強力をマグネット力でスローライフが似合う日本一の国際保養地を目指すものです。

(※1)ニューツーリズム：旅行先での人や自然とのふれあいが重要視された新しいタイプの旅行。旅行会社主導ではなく、地域の立場から特性を活かし、活性化につなげる新しい旅行の仕組み。(※2)6次産業化：農業や水産業などの第1次産業と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出。(詳細は観光HP「イソタビッドコム」で。)



今回の認定により、大磯の名度アップに向けて県知事のトップセールスやPRが行われ、円滑な事業の実施のための、有用な情報が県よりもたらされます。町でも、推進管理組織を設置し、構想の具体化に向けて動き出します。

### ◎問い合わせ

産業観光課 ☎内線248

## 町長が走る!!

### 町のホームページがリニューアル

見やすく使いやすく分かりやすく  
みなさんは、町からの情報をどのようにして得ていますか?町からはさまざまな情報を広報紙、ホームページ、回覧板、メール配信、SNS、湘南チャンネルのテロップ放送などで発信していますが、卓話集などで皆さんにお聞きすると、いまひとつ皆さんのところへ情報が届いていないような気がします。情報をすばやく皆さんへお伝えすることのできるように、町では「見やすく」「使いやすく」「分かりやすい」ホームページ作りを目指し、4月1日にリニューアルしました。最近普及が目立つスマートフォンにも対応していますので、外出先でも町の情報を得ることができそうです。

従来以上の使いやすさ(ユーザビリティ)の向上や、アクセシビリティ(高齢者・障がい者等情報弱者対応)への対応、さらには災害時等における安定した情報発信などに対応するなどの対策を強化しましたので、ぜひ、ご活用いただきたいと思えます。

また、「町長室へようこそ」のページも充実させ、日々の行動や私も参加したさまざまなイベントなどについてもカメララスケッチとして掲載しております。

今後も、積極的な情報発信や町の魅力をお伝えしてまいりますので、今まで以上に町のホームページをご活用ください。



▲リニューアルした町ホームページ

### ◎問い合わせ

政策課 ☎内線206

大磯町長 中崎 久雄